

2026.5.17

KICD induction ceremony in Seoul

2026年5月17日(日)17時から、ソウル新羅ホテルライラックホールにおいてICD韓国部会の新入フェロー認証式と親睦ディナーが盛大に開催された。会場となったホテル施設は重厚な雰囲気漂う場所であり、総合司会を事務局長のリ ジョンウ先生がなされた。韓国部会会長のクオン クンロク先生のご挨拶に始まり、日本部会会長富士谷 盛興先生、台湾部会会長のヤン イエチャオ先生、フィリピン部会会長のシ ウォルター先生のご挨拶がなされた。



今回の認証式では、新たに6人のフェローの入会があった。各フェローの紹介と自己紹介がなされ、国際本部、韓国部会、日本部会、台湾部会、フィリピン部会より綱領、キー、プレゼントの贈呈がなされた。



続いて、今回から初めて幼児から小学生を対象に、口腔衛生やむし歯予防などについての英語でのスピーチ大会が開催され、年齢層別に賞状とメダルが授与された。どのプレゼンターも、身振り手振りを交えても流暢な英語をしゃべり中身も大変聞きごたえのあるプレゼンであった。



最後に、30分ばかりジャズバンドの演奏披露があり、会場全体が一体となり盛り上がった。



認証式の前日の晩は、前夜祭があり、中華料理を食しながら、おいしいお酒を酌み交わして盛り上がった。また、認証式の前には、エクスカージョンとして韓国国立美術館ツアーでおもてなしを受けた。ここ数回の韓国部会認証式への参加で、顔と顔が見える関係となってきたおり、先方の先生方の心からのおもてなしに感動を深く受けることができた。





(高山 真一 記)

昨年 10 月の台湾部会の新入フェロー認証式・親睦会に続き、5 月に開催された韓国部会の新入フェロー認証式・親睦会にも参加しました。日本部会では事業運営（総会・認証式）委員会に所属していることから、他部会の新入フェロー認証式がどのような雰囲気で行われているのかを学ぶ目的で参加しました。

韓国部会の新入フェロー認証式は、日本部会と同様に厳粛な雰囲気の中で進行し、非常に格式の高い印象を受けました。一方、親睦会では、子どもたちによる歯科予防に関する英語スピーチやジャズバンドによる演奏が披露されるなど、大変賑やかで和やかな雰囲気の中で開催されました。

前夜に開催された親睦会では、「Korean-Chinese」と呼ばれる中国料理を味わいながら談笑し、参加者同士の親睦を深めました。その中でも特に印象的だったのが、「白酒（ばいじゅう）」と呼ばれる中国の穀物を原料としたアルコール度数 52 度の蒸留酒でした。伺ったところによると、主原料には「高粱（コーリャン）」「小麦」「米」「もち米」「トウモロコシ」の五穀が使用されており、パイナップルや熟した果実を思わせる甘みがあり、初心者にも比較的飲みやすい特徴を持つお酒とのことでした。実際に口にしてみると非常に飲みやすく、談笑しては杯を交わし、また語り合うという和やかな時間を過ごしなが、さらに親睦を深めることができました。

また、ボトルのラベルには「朋自遠方」と記されており、その粋な計らいに大変感動するとともに、深い歓迎の気持ちを感じました。最後には、来韓と親睦の記念として、自分たちで飲み干した空ボトルをスーベニアとしていただきました。現在、その空ボトルは韓国部会認証式に参加した思い出として、当医院の待合室に飾っています。



(中根 晶 記)

韓国部会の認証式に参加して参りました。5月中旬の韓国は日本とほぼ同じ陽気です。とても爽快な気候でした。土曜日の前夜祭は中根先生の報告を御参照ください。とても楽しい雰囲気が伝わってくる報告です。

翌日のエクスカージョンは、ソウルでも人気のスポットである梨泰院（イテウォン）の散策とランチでした。





梨泰院は、小さなギャラリーや美術館が密集し、芸術家の街という印象でした。韓国の最新アートを存分に堪能させていただき、とても刺激的な時間でした。

そして昼食は、韓国の家庭料理を供する食事処へ招待されました。お店の構えも古民家を改築して利用しており、古き良き韓国の家庭に誘われるような錯覚を覚えました。韓国の家庭の味を一同堪能し、食後は各自が宿泊する宿へ戻りました。



ホテルにてディナージャケットに着替え、いぎ認証式へ！会場は毎年恒例の新羅ホテルです。日本でいえば帝国ホテルのような、その国を代表するようなホテルでしょう。

今年の中根フェローが初めて参加してくださいました。



1月のフィリピン部会の認証式には足立フェローが参加してくださいました。そして今回の中根フェローの参加と、こここのところ国際交流委員以外のフェローも海外での認証式に参加していただき、国際交流が非常に盛り上がってきました。是非ともこれをお読みのフェローの皆様も奮って御参加ください。次回は日本部会の認証式の翌週に台湾部会の認証式が開催されます。Let's Go To Taipei!

(小野 清一郎 記)

KICD 認証式に参加して感じたこと 副会長 鈴木佳弘

KICD の対外活動について

KICD が主催者となり、「未来歯科と口腔健康」という題目において「子供英語スピーチコンテスト」が、当日のパーティー会場で開催されました。歯科に対する率直な経験談と歯の健康が重要であることを創造的な英語のスピーチで発表されました。

発表内容は 8 名の子供たちが以下の内容で発表され、会場聴者の心は引き付けられ（笑いと感動）、各発表が終わるたびに割れんばかりの拍手がありました。



CHOI-JOON CHOI (6歳) : 患者の恐怖心を落ち着かせるロボットを発明したい

WOO-JIN KIM (7歳) : ストレプトコッカスミュータンスがエナメル質を溶かすことを防ぐには 331 (1日3回3分) という重要な数字の話

MOMO JUNG (8歳) 歯の治療は痛みを伴うが音楽を聴くと歯科治療を怖がらないようにするための音楽について

SEO-WON WOO(9歳) : 6歳までは歯医者に行くことが嫌いだったが、今は嫌いではなくなった理由

JI-AN SEO (3年生) : ピザを食べたら歯がグラグラになった→歯医者に行った→家に戻って美味しくピザを食べた体験談

JENNY HUR (4年生) : 正しく歯を磨くと色が変わる歯ブラシの発明

HA-YEON (5年生) : 母親が歯科医である娘に虫歯ができてしまった!

YUL-A KANG (6年生) : 口腔衛生を保つためには1日3回、食後30分以内、3分磨くこと

このようなICDの広報活動は日本部会でも行われるといいなと感じました。

KICDのパーティーがとても華やかであったこと

今回も認証式会場はソウル市内のホテルでは一番格式の高いシーラホテルで開催されました。会場の設営並びに、食事もとても美味しく、KICDの格式も高く感じることになりました。

また、パーティーの参加者の多くが夫婦同伴であったことがさらに会場ないが華やかな雰囲気となり盛り上がりを感じました。私が座ったテーブルは歴代会長 4 名すべてが夫婦同伴でありその中で私と私の家内がとても心地よく歓待を受けました。この雰囲気が他の学会ではないものではないかと感じ JICD でも、今年 12 月 21 日の帝国ホテルで開催される年末集会在夫婦同伴で華やかな集会になることを期待いたします。

